

令和元年（2019）9月4日～9月6日

令和元年度（2019）

第3回出雲市議会(定例会)  
一般質問通告一覧表

令和元年度（2019）第3回出雲市議会（定例会）  
 一般質問通告一覧表 目次

9月4日（水） 10:00 開会			9月5日（木） 10:00 開会			9月6日（金） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	玉木 満	3	1	西村 亮	10	1	伊藤 繁満	17
2	大場 利信	4	2	後藤 由美	11 12	2	湯浅 啓史	18
3	錦織 稔	5	3	岸 道三	13	3	児玉 俊雄	19
4	大谷 良治	6	4	板倉 一郎	14	4	寺本 淳一	20
5	保科 孝充	7	5	原 正雄	15	5	本田 一勇	21
6	川光 秀昭	8	6	勝部 順子	16	6	福島 孝雄	22
7	神門 至	9						

質問者	2 玉 木 満
質問事項・質問内容	
(1) 檜山・東小学校の統合 朝陽小学校	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和3年4月開校予定、朝陽小学校について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 交流事業、合同学習等の状況について</li> <li>イ 過去の再編統合から得た経験の活用</li> <li>ウ 開校までの予定</li> </ul> </li> </ul>	
(2) 高等教育機関との連携について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 出雲市と高等教育機関との連携について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 現在までの連携状況</li> <li>イ 連携の成果</li> <li>ウ 現在の課題及び今後の方針</li> </ul> </li> <li>② 県内他自治体との比較 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 他自治体の連携状況</li> <li>イ 特徴のある連携</li> <li>ウ 高等教育機関が立地する強み</li> </ul> </li> </ul>	

質問者	18 大場利信
質問事項・質問内容	
(1) 外国人の市内からの流出現象について	
<p>① 市内の大手電子機器メーカーの生産調整に伴い請負会社に雇用されている多くの外国人、特にブラジル人が出雲市内から流出しております。国際経済が一国のみならず多国籍で連鎖しあっている現在の市場経済の下、好況不況の波の影響を受けるのはやむを得ないものと考えますが、地方経済や地方消費を活気づけ、また県内で唯一人口増加をもたらしてきた多数の外国人が市内から流出することは今後の出雲市への影響は大きいものがあると考えます。このような観点から以下伺います。</p> <p>ア 今回の流出現象は、日本全体はもちろん出雲市においても若年層人口が減少しつつある中で、地域経済と雇用に与える影響は無視できないものがあると考えますが、これについての見解を伺います。</p> <p>イ 2008年のリーマンショック時における先進自治体での経験が先例として参考となると考えますが、これについて伺います。</p> <p>ウ 多文化共生推進プランを定め各種施策（子育て、教育、住まい等）を実施されてきておりますが、今後の影響について伺います。</p> <p>エ 市長は現在起こっている現象についてどのような感想をお持ちか伺います。</p>	
(2) 学校給食用米について	
<p>① この度新設される斐川学校給食センターには炊飯設備がなく、矢尾町にある島根中央炊飯センターで炊飯加工及び配送されるとの報告を担当課から受けております。ここの炊飯センターでは斐川町の農事組合法人上直江ファームの「米米田んぼ」で収穫された特別栽培米を他の米とブレンドすることなく、特定期間に限って、出雲市全体の児童・生徒に提供する方針が出されました。特定期間に限るのは、特別栽培米の量を考えた場合やむを得ないものと考えます。私は、米飯給食に当たっては、健康面から市内のすべての児童・生徒に周年にわたって特別栽培米を使用すべきと考えており、この観点から以下伺います。</p> <p>ア 減農薬・減化学肥料用米とされている特別栽培米の栽培基準を伺います。</p> <p>イ 出雲、平田及び斐川の学校給食センターで必要とされる学校給食用米の年間の使用量及びそのうちの特別栽培米の使用量について伺います。</p> <p>ウ 現在特別栽培米が栽培されている地域および特別栽培米ほ場の拡大について伺います。</p> <p>エ 学校給食費の負担増について伺います。</p> <p>オ 最後に、米飯給食に当たって、市内のすべての学校給食センターで特別栽培米を使用する方針を検討すべきと考えますが、これについて伺います。</p>	

質問者	7 錦 織 稔
質問事項・質問内容	
(1) Society 5.0に向けて、業務のスマート化を	
<p>① RPA導入について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 導入に向けて、広報の必要性について伺う</li> <li>イ 情報セキュリティ対策の考え方</li> <li>ウ 導入対象の業務選定の状況</li> <li>エ RPA導入について、全庁展開に庁内の理解はあるのか</li> <li>オ RPA活用スケジュール</li> </ul> <p>② OCR導入について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア OCR導入の有効性</li> <li>イ OCR+RPA活用について、今後の展望</li> </ul>	
(2) 乳児用液体ミルクを災害備蓄品に	
① 乳児用液体ミルクを災害備蓄品に導入する考えはないか伺う。	

質問者	9 大谷良治
質問事項・質問内容	
(1) 道路・河川の維持管理について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市・県が管理する河川河道の除草堆積土砂対策について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 年次的・継続的な取組み状況などを伺います</li> </ul> </li> <li>② 市道の管理について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 道路管理の状況や舗装補修の体制、更新等について伺う</li> <li>イ 道路パトロールの体制</li> </ul> </li> </ul>	
(2) 産後ケア事業について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 産後ケア事業の取組みについて <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 出雲市の産後ケア事業の取組と利用状況</li> <li>イ 評価と課題</li> </ul> </li> </ul>	

質問者	20 保科孝充
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市職員の臨時・非常勤制度を聞く	
<p>① 令和2年度から地方公務員法の改正により、臨時、非常勤職員の処遇改善が制度化されます。出雲市職員の現状と今後の改善計画について伺います。</p> <p>ア 現在の正規・臨時あるいは嘱託職員等の職種は何種類あるか</p> <p>    a それぞれの人数</p> <p>    b どのような考えで職種を規定しているか</p> <p>イ 給与の実態を伺う</p> <p>    a 正規・臨時あるいは嘱託職員の年間給与実態（平成30年度）</p> <p>    b 臨時職員の時間給与5年間の推移</p> <p>ウ 法改正に伴う今後の改善計画について伺う</p> <p>    a 現在の臨時・非常勤職員は今後どのように分類されるか</p> <p>    b 会計年度任用職員はどのような考えで採用するか</p> <p>    c 現在の臨時・非常勤職員についての説明はどのようにするか</p> <p>    d 採用年数はどのようになるのか</p>	
(2) 旧大社基地（新川元滑走路）の保存と活用策を伺う	
<p>① 終戦記念日・8月15日を前にした11日・12日・14日の山陰中央新報山陰総合欄紙面に、戦後74年・旧大社基地（斐川町出西の新川元滑走路）の記憶として3回シリーズで大きく取り上げられました。その保存と活用について伺います。</p> <p>ア 平和学習の教材・拠点としての保存活用について伺う。</p> <p>    a 市内の小中学生の学習だけでなく、大学の教育活用のための準備が進んでいるとのことだが、状況を伺う。</p> <p>    b コンビニの南側に記念碑がある。市内外の方が、時々滑走路を含めた写真撮影をしている。管理はどこか。</p> <p>イ 管理している財務省松江財務事務所は、地元の要望があれば最大限配慮したいとしているが、市としての考えはどうか。</p> <p>    a 財務事務所では、地元要望により市が例えば、平和学習公園の拠点等として計画すれば、無償譲渡あるいは一部有償譲渡、貸付について、全部または一部面積でも可能としている。関係者と話しあいながら進めるべきと思うがどうか。</p>	

質問者	5 川 光 秀 昭
質問事項・質問内容	
(1) 新体育館の建設に係る手順は適切におこなわれていますか	
<p>① 山陰中央新報（8／21）によると、新体育館の建設計画に関して、市長は「意見はいろいろあるがそれなりに手順を踏んできた。」と述べられています。しかし、私はその手順の内容や情報の提供が充分ではないため、この計画に対する市民の理解が進んでいないのではないかと考えています。次の3点について伺います。</p> <p>ア 第6回新体育館建設庁内検討委員会の資料では、『「立地環境」及び「建設コスト」の視点から情報収集を行い、「立地環境」及び「建設コスト」の両面から総合的に検討した結果、立地環境面で評価の高かった島根県立大学周辺と判断した。』と記載されていますが、全員協議会の説明資料（新体育館建設の検討状況について（第3回報告））では、建設コストについては触れられていません。重要な検討要素だと思いますが、建設コストを評価から除いた理由を伺います。</p> <p>イ 全員協議会（5／13）の資料では、景観形成地域への配慮として、「地元である鳶巣・川跡両地区および出雲市景観審議会に説明を行った」と記載されています。当該地域だけに説明することで責任は果たせたのでしょうか。</p> <p>ウ 同じく全員協議会（5／13）の資料では、建設工事費は4,150（百万円）と記載されています。他事例の単価を基に積算した結果のようですが、景観形成地域を考慮した設計・施行を行うとさらに建設工事費等が増加するのではありませんか。</p>	
(2) 出雲市の農道で車の事故が発生しました	
<p>① 出雲市内の農道の交差点に、「止まれ」の標識が無く、道路に停止線が標示されているのをよく見かけます。この停止線は、道路交通法上は停止しなくても違反ではなく、一時停止の義務はありません。</p> <p>停止線が標示され、注意喚起を促している以上、何らかの義務や責任が生じても良いように思いますが、停止線が有っても無くても、事故などの時の過失責任には全く影響しないようです。</p> <p>この停止線は出雲市がペイントしていますが、位置の決定や目的について教えてください。</p>	
(3) 行政センターは支障なく運用されていますか	
<p>① 新年度から行政センターがスタートしました。大社行政センターでは、運用に係るソフト面ばかりでなく、消防署の建設に伴い施設の移動も行われました。支障なく運用されているか、次の2点について伺います。</p> <p>ア 8月23日大雨で、大社町には避難勧告（警戒レベル4）が発令されました。また、倒木による通行止めの処置も行われました。初動及び処理に問題はありましたか。</p> <p>イ 施設の移動は完了していないようです。今後の予定と予算について教えてください。</p>	



質問者	1 2 神 門 至
質問事項・質問内容	
(1) 高齢者一人暮らしへの生きがい・不安解消の対策等について	
<p>① 高齢者一人暮らしの状況について伺います</p> <p>ア 令和元年7月末現在の世帯数は。</p> <p>イ 合併時（平成23年10月）の世帯数は。 ※比較数値</p> <p>② 高齢者一人暮らしの生きがい対策について</p> <p>ア 市の考えは。 ※具体的な事例</p> <p>③ 高齢者一人暮らしの不安解消の対策について</p> <p>ア 市の考えは。 ※地域交流、災害時等</p> <p>④ 民生児童委員との連携・協力体制について</p> <p>ア 市の考えは。 ※地域・自治会等との連携・協力</p>	
(2) 外国人住民との共生社会の実現に向けて	
<p>① 外国人住民の状況について伺います</p> <p>ア 令和元年7月末現在の人数・世帯数は。</p> <p>イ 平成30年7月末現在の人数・世帯数は。 ※地域別、比較数値</p> <p>② 共生社会に向けての課題および対策について伺います</p> <p>ア これまで市が把握している課題は。</p> <p>イ また、これまでの対策は。 ※現状の教育・雇用・地域交流などの課題・対策</p> <p>③ 共生社会に向けて、今後の市の考えについて伺います</p> <p>ア 教育については。</p> <p>イ 雇用については。</p> <p>ウ 地域交流については。</p> <p>エ その他の考えについては。</p>	

質問者	17	西村 亮
-----	----	------

質問事項・質問内容

(1) 公共事業に係る入札管理制度の諸課題

- ① 公共事業に関する入札参加資格と地域割制度。
- ② ワンデーレスポンスの現状と対応。今後の課題。
- ③ 市の対応は非常に遅く、スピード感を主に迅速な対応が必要不可欠。
- ④ 決定権のある者になるべく対応すべきと考えるが所見は。
- ⑤ 災害、除雪等建設業者は地域に対して貢献しており、市としても業者と対等な立場を維持して対応すべきで、上から目線を改善すべきと考えるが見解を伺う。
- ⑥ 除雪作業に関して県は維持、管理費の助成がある。出雲市の現状は。又オペレーター等の養成、資格取得の助成、市職員の資格取得についても詳細な答弁をお願いします。
- ⑦ 法面工の入札参加資格において、市は年平均1,000万円以上の実績が必要となっている。土木一式工事内の法面工事費は、先ほどの法面工の入札参加資格の実績に含まれない。認めないのは何故か伺う。  
聞く所によれば、島根県は10年間の施工実績を基準としているのに、市は何故厳しい条件を設定するのか真意を伺う。

(2) 市道における支障木の除去と今後の課題

- ① 市道等の支障木の除去が進展せず、支障木がいたる所で繁茂。特に大型車両の支障となっており、通行に支障をきたしている。早急な対応が必要と考えるが今後の対応策を伺う。
- ② 地域住民の要望に充分対応が出来ず、住民の皆様は困惑しておられる。特に要望等に対して回答が遅く迅速な回答が必要不可欠と思うが所見を伺う。

質問者	4 後藤由美
質問事項・質問内容	
(1) 「子どもの医療費助成」と「幼児教育・保育の無償化」について	
<p>① 子育て・教育の負担軽減は家計を応援するとともに、貧困から子どもを守り保育・教育の機会を保障するなど、子どもの権利を守る上でも大事な課題です。子育て支援に関わる様々な相談が寄せられましたが、新たな局面を迎えている「子どもの医療費助成制度」と新しい国の制度である「幼児教育・保育の無償化」について伺います。</p> <p>ア 市はこの10月から新たに子どもの医療費助成制度を創設し、住民税非課税世帯の子どもは中学生まで通院・入院すべてで無料にし、課税世帯の子どもは入院にかかる負担を中学生まで無料にします。これは一歩前進ですが、子育て世代の願いは今も「出雲市も早く中学卒業まで無料に」であります。今や全国の9割の自治体が通院も入院も中学校卒業まで助成しています。さらなる拡充で、早く中学卒業まで無料になるよう助成を引き上げることを求めますが、所見を伺います。</p> <p>イ 「幼児教育・保育の無償化」がこの10月から実施されます。今回の無償化で3歳から5歳までの幼稚園、保育所、認定子ども園などを利用する子どもたちの保育料が無償化され、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもたちも対象になります。一方給食費の副食費が無償化の対象外となりました。</p> <p>a 保育料は高く子育て世代にとっては負担になっており、そのことが少子化の要因になっているとも言われています。そのとき、「無償化」といいながら、副食費は実費負担となりました。保育園からは「副食費の滞納が生まれたときの対応はどうすればいいのか」「徴収の管理など新たな事務負担が生まれ、不安」という声が出されています。給食の提供は保育の一環としておこなわれるものであり、市の独自助成ですべての世帯の副食費を無料にするものと考えますが、所見を伺います。</p> <p>b 幼児教育の無償化により、認可保育所を希望する家庭が増えることが予想されます。4月時点で特定の保育所を希望することによる待機者が77人でした。今後の見通しをどう認識されているのか伺います。また待機児童解決のためには、あくまでも認可保育所の増設が基本と考えますが、所見を伺います。</p>	
(2) 市営住宅政策について	
<p>① 公営住宅は、住宅に困窮している方に低廉な家賃で賃貸することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的としています。現在出雲市は46の公営住宅と2つの山村住宅があり約1400戸を管理しています。入居者誰もが快適に過ごせる住居環境の整備は、自治体の重要な役割です。</p> <p>そこで、伺います。</p> <p>ア 建設年度が古い公営住宅を調査するなかで、「畳を替えたい」「足が不自由だが、風呂釜が高くて危ない」「玄関のドアや風呂の壁を修繕したい」「階段に手すりがあるが、高くて手が届かない」など、様々な要望が出されました。住宅の修繕費は自己負担部分も多く、我慢しておられるケースがあります。費用負担ルールを改め、入居者負担を軽減すべきと考えますが、所見を伺います。</p>	

- イ 市は「出雲市公営住宅等長寿命化計画」を作成しています。建設年度が古い老朽化した公営住宅の建替計画によると「管理戸数を縮小して建替」とか「管理戸数を縮小して統合建替」などとして、11の住宅があげられています。公営住宅への入居希望者が多い現状のもとでは、建替の際は規模拡大や新設も必要と考えます。市民のニーズに合わせた計画となるよう、見直しを求めたいと思うが、所見を伺います。
- ウ 住宅の修繕などの業務は「島根県住宅供給公社」（公社）が担っていますが「公社に連絡したが来てくれない」「旧自治体の時はすぐ来てくれたが」という声が複数寄せられました。住民の問い合わせに対して、迅速な対応ができていないと思われます。現状を検証し、改善を図るべきですが、所見を伺います。

質問者	10 岸 道 三
質問事項・質問内容	
(1) 「第2期出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定」について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 人口ビジョンにおける人口推計見直しの概要</li> <li>② 基本目標に掲げた取り組みの成果と課題</li> <li>③ 市民意見の反映のあり方</li> <li>④ 想定される主な見直し項目</li> </ul>	
(2) 「臨時・非常勤職員から会計年度任用職員への移行に係る課題」について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 現在の臨時・非常勤職員の総数</li> <li>② 採用する際の給与決定および再度の任用の際の給与決定の考え方</li> <li>③ 休暇制度など労働条件の整備</li> <li>④ 採用決定方法と対象者への説明</li> </ul>	

質問者	24 板倉 一郎
質問事項・質問内容	
(1) 県立高校の入試制度について	
<p>① 平成29年度から、県立高校の入試制度が大きく変更された。その後、3年経過したが状況などについて次の点を伺う。あわせて、外国籍の子どもの状況について入試や進学状況も伺う。</p> <p>ア 県立高校の入試制度の概要について伺う。(変更前と変更後)</p> <p>イ 教育委員会として、入試制度の変更について、どのように評価しているのか伺う。また、中学生や保護者に対しどのように対応しているのか伺う。</p> <p>ウ 変更の中で、一般入試で志願出来る高校が、第一志望校、第二志望校であったのが、第一志望校1校になった。この点について、保護者から戸惑いの声をきくことがあった。教育委員会として、どのように把握しているのか伺う。</p> <p>エ 第二次募集の受験状況について伺う。また、一般入試の合格発表から、第二次入試検査日まで1週間程度しかなく短いとの声があるが、教育委員会として、どう考えているのか伺う。</p> <p>オ 外国籍の子どもの入試の特例措置の緩和状況や進学状況について伺う。</p>	
(2) アパート建設に伴う市の対応について	
<p>① 昨今、アパートの建設が道路の幅が広く広々とした場所だけでなく、道路幅の狭い場所でも見受けられるようになった。そうした中で、住民の方から近所でのアパート建設について不安の声が寄せられるようになって来た。そこで、アパート建設における市の対応について次の点を伺う。</p> <p>ア アパートの建設の許可基準について伺う。</p> <p>イ 市は、建設事業者に対し、近隣住民への対応についてどのような指導をしているのか伺う。</p> <p>ウ アパート建設時の近隣住民の相談窓口は、どうなっているのか伺う。</p> <p>エ アパート入居者の自治会加入への取り組みについて伺う。</p>	

質問者	16 原 正 雄
質問事項・質問内容	
(1) 「人とトキが共生する社会づくり」について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① トキ一般公開記念シンポジウムについて <ul style="list-style-type: none"> <li>ア パネリストからの市への提言内容</li> </ul> </li> <li>② 一般公開後の状況について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 入場者数</li> </ul> </li> <li>③ トキによるまちづくり基金について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 目的</li> <li>イ 基金の状況</li> <li>ウ 基金の用途</li> <li>エ 寄付の呼びかけ方法</li> </ul> </li> <li>④ 今後の取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 組織体制</li> <li>イ トキの普及・啓発とトキと共生する社会づくり</li> </ul> </li> </ul>	

質問者	29 勝部 順子
質問事項・質問内容	
(1) 高齢者ドライバーの安全運転への支援について	
<p>① 全国的に、高齢者ドライバーの事故が増加しています。  政府は、高齢者などの安全運転支援、運転免許証を返納した後の移動支援の強化に動き出しました。  公明党は、高齢者の移動手段の確保と安全運転支援を積極的に推進してきました。高齢者の移動手段の確保を国家プロジェクトとして取り組むよう主張しています。</p> <p>市内の高齢の方から、これまで車で移動していたので、免許証を返納したらどうすればいいのか、困っているとの声を聴いています。</p> <p>ア 高齢の方で、運転免許証を返納された方の状況を伺います。</p> <p>イ 出雲市として、高齢者の方々の安全運転のための施策、移動手段について、どのようにお考えでしょうか。伺います。</p>	



質問者	19 伊藤繁満
質問事項・質問内容	
(1) 「ソサエティ5.0」時代の取り組みと推進体制について	
<p>① 第4次産業革命の時代に入り民間レベルでは多様な取り組みが展開されています。さて、本年6月、国においては、経済財政運営と改革の基本方針である骨太の方針と成長戦略が決定されました。</p> <p>全国的に人口減少や少子高齢化が進行し働く世代の減少により経済の発展に大きな影響が生じてくることが想定されています。2040年台に団塊ジュニアの世代が高齢化を迎える時代となり、現在よりさらに人口減少が生じることが予測されています。この為、1.0狩猟社会、2.0農耕社会、3.0の工業社会、そして4.0の情報化社会を越えて超スマート社会へと続く、新たな社会Society 5.0の時代に向けてその実現を目指すべく施策の推進が行われます。情報があふれている昨今の課題からAI、IoT、などの最新テクノロジーを活用した便利な社会を創出しようとするものであります。</p> <p>このような変革の時代に市民サービスの向上を図り、快適な生活環境を享受できるように自治体は創意工夫を行い、人口減少に対応したスリムな体質と量が求められスマートな自治体経営が必要となっています。昨年9月にはスマート農業の導入について一般質問を致しましたが関連して今回は、変革の時代における本市の今後の体制整備の必要性から以下の点について伺います。</p> <p>ア 時代の転換期にふさわしいスマートシティ構築の推進に係る行政施策全般について現状と今後の方針について伺います</p> <p>イ 一丁目一番地となる本市の体制整備について行財政から政策経営へ体質強化に向けた改革（行政のデジタル化・行政コストの引き下げ等）について伺います。</p>	

質問者	11 湯 浅 啓 史
質問事項・質問内容	
(1) 幼児期から小中学校でのフッ化物洗口の取り組みについて	
<p>① むし歯予防に効果的と言われているフッ化物洗口は、島根県内において、近年実施している園や学校が増えてきていると聞く。出雲市の取り組み、特に幼児期から小中学校での取り組みについて伺う</p> <p>ア フッ化物洗口とはどのようなものか</p> <p>イ 出雲市での幼児期から小中学校までの取り組み状況</p> <p>ウ 実施における考え方</p> <p>エ 必要な費用</p>	
(2) 市が行う契約、調達等について	
<p>① 市が行う物品の調達や、提供するサービスの基礎となる発注物、また、公共施設の整備等に係る契約などの、市の基準や考え方を伺う</p> <p>ア 物品調達や発注、契約内容について、地元経済を循環させる考え方はどのようにルール化されているか</p> <p>イ 入札等に参加する企業の雇用条件や将来的な人材育成の観点は取り入れられているか</p> <p>ウ 行きすぎた低価格入札には歯止めをかける必要があると考えるが、どのようにルール化されているか</p>	

質問者	6 児 玉 俊 雄
質問事項・質問内容	
(1) 義務教育学校について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 中1ギャップの実態を伺う。</li> <li>② 義務教育学校に対する評価を伺う。</li> <li>③ 義務教育学校の設立を検討する考えはないか所見を伺う。</li> </ul>	
(2) 防災重点ため池の再選定について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① ため池管理者への連絡後の問い合わせ及び対応を伺う。</li> <li>② ため池の改修・廃止に係る支援制度について伺う。</li> <li>③ 支援制度等の周知方法を伺う。</li> <li>④ 今回の再選定に際し、新たな支援策を検討されているのか。</li> </ul>	

質問者	13 寺本淳一
質問事項・質問内容	
(1) 新しい社会に向けた学校教育のあり方	
<p>① 2017年に改正された学習指導要領ですが、戦後最大の教育改革といわれています。一方で2016年に「ソサエティ5.0」が第五期科学技術基本計画として閣議決定され、これから日本が目指す社会の姿として提唱されています。これは少子高齢化や過疎化など日本社会が抱える諸課題を解決しつつ、世界に先駆けた超スマート社会の実現を図ろうとするものです。このソサエティ5.0の実現と教育改革は密接に関連しており、ソサエティ5.0の社会に必要な資質・能力を求められる人材育成が意識された改革となっています。また文部科学省では昨年から林大臣の下で議論が進められ、「ソサエティ5.0」における人材像、学校や学びのあり方、今後の教育政策の方向性がまとめられました。その報告書の内容の一つに、「学びや学校のあり方の変革」とあります。そこで市の所感を伺います。</p> <p>ア ソサエティ5.0に向けた人材教育とは。</p> <p>イ ソサエティ5.0の実現に向けて、学校や学びのあり方がどう変わっていくのか。</p> <p>ウ ソサエティ5.0の実現に向けての課題。</p> <p>エ 改正された学習指導要領の重要なポイントの一つに「社会に開かれた教育課程」の実現とあるが、これは地域や民間の力をどのように学校に生かせるか、協働できるか、これまで以上に学校側のコーディネート力、マネジメント力が問われていると感じるが見解を伺います。</p>	

質問者	8 本田 一 勇
質問事項・質問内容	
(1) 若手からのアイデアを聞いていますか	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 春に入った新人からの業務提案はありますか</li> <li>② 若い世代からの提案を吸い上げる制度はありますか</li> <li>③ 市役所の改善提案制度はありますか</li> <li>④ 過去に採用された提案はありますか</li> <li>⑤ 新しい挑戦をさせない風土はありませんか</li> <li>⑥ 若手が仕事を失敗した時にどう助言しますか</li> </ul>	

質問者	15 福島孝雄
質問事項・質問内容	
(1) 消費税の軽減税率制度実施に伴う農業への影響について	
<p>① 生産者（認定農業者・農事組合法人）について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 出雲市での免税事業者・簡易課税事業者・課税事業者の割合。</li> <li>イ 簡易課税制度の見直しの内容と影響。</li> <li>ウ 従事分量配当の取り扱い変更による影響。</li> <li>エ 総合的に見た経営への影響。</li> </ul> <p>② 農産物委託販売に係る課税売上の計算方法の変更に伴う影響について伺う。</p> <p>③ 消費税の仕入税額控除の要件について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 変更点。（令和元年10月～令和5年9月・令和5年10月～）</li> <li>イ 区分記載請求書等保存方式の内容。</li> <li>ウ 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の内容。</li> </ul> <p>④ 個人農家（免税事業者）への影響について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 農産物の個人販売と委託販売における影響と注意点。</li> <li>イ 令和5年10月（適格請求書等の交付義務）からの対策。</li> </ul> <p>⑤ 各生産者への周知徹底について伺う。</p>	